



こいけ かずえ  
**小池 和枝さん**

南が丘西

小池さんは清水町のご出身。現在はご主人と2人の小学生の娘さんとの4人で暮らしています。「以前から布の絵本というものに興味があり、知り合いがやっているのを知って始めたんです」という布の絵本サークル『ひよこひよこ』に8年ほど前から所属し、熱心に創作活動をしています。

「より良い本を作るために、みんなで知恵を出し合っています。苦勞して作り上げたものほど愛着がわきますよね。洋裁が得意な人、刺しゅうが得意な人など、お互いに教え合ったりしてレベルアップしています」と活動について話す小池さん。会員の年齢層は幅広いということですが「みんな『針を持つことが好きな人』なので話が合うし、年上の人からは人生の先輩としていろいろ

今月の  
**あまいるさん**

『苦勞したもののほど愛着がわきます』

なことを教えてもらえるので、とてもありがたいです」と有意義な時間を過ごしているようです。

そんなお仲間と作る布の絵本については「絵本には温かなイメージを持っている人が多いと思いますが、布の絵本は絵本の良さを布で表現することで、手で触れる温かさやぬくもりを伝えられるんです」とその魅力を語ります。

世界に1冊しかない「布の絵本」。原作のイメージを損なわないように作りあげていくのはとても大変な作業だと思いましたが「昔から針仕事は好きだったので、基本的に大ざっぱな性格なんです。よく8年も続けられたと思うけど、逆に技術がないから続けることができたんだと思います」と笑う小池さん。将来の夢を「子どもに手がかからなくなったら、小物作りをしていきたい」と語っていただきました。

次回は

こいけ かずえ  
小池 和枝さんの紹介で  
しみず きよこ  
清水 恭子さん(花園町中央)をご紹介します。

みんなの掲示板

リラクゼーション・運動不足解消・筋トレ・友だちづくり・健康維持に最適

芽室町に「シュノーリングサークル」が誕生!!

シュノーリングとは、水中メガネ・シュノーケル・足ヒシを使用して行う札幌発祥の健康スポーツです。

水中メガネとシュノーケルの着用により水への恐怖心は解消され、足ヒシを着けることにより容易に泳ぐことができます。

水中で行う運動のため、足腰や心臓への負担が少なく、けがや故障のリハビリにも最適です。泳げない人も、障がいをお持ちの方も、高齢者もお子さんも、気軽に参加できるスポーツです。

ぜひ、新サークル“十勝スイミングサークル”(福士昌宏代表 会員16人)に入会しませんか。



全身の筋肉を使うため、腰痛や肩こり、肥満などの解消にもつながる「シュノーリング」は、注目の新スポーツ

☎代表 福士昌宏 ☎62-1896



次号のキッズファイルは、南保育園です。

キッズ  
ファイル  
めむろてつなん  
保 育 所

149名の子どもたちが元気に通っています。2月の豆まきでは、年長さんが自分で作ったお面をつけて鬼になり、泣き虫鬼、怒りん坊鬼を退治しました。近くに公園もあり、毎日寒さに負けず元気いっぱい、たくさん遊んでいます。

善意に  
感謝します

芽室町受付分

・川東常美さん(洪山)から、現金10万円(福祉行政振興のため)

特別養護老人ホーム受付分

・美蔓長寿会から、タオル45本  
・岡崎光子さん(雄馬別)から、現金3万円(特別養護老人ホーム運営費として)

私の高校3年間は、ほとんどバレーボール一色でした。最後の高体連全道大会では、札幌大谷に敗れベスト8で終わり、それでは終われないと9月の私学大会で札幌大谷とまた戦うために3年生は残ることになりました。大会は就職試験などが重なり、3年生全員で臨むことはできませんでしたが、本当にみんなの気持ち一つになっていると感じました。

札幌大谷に勝つことはできませんでしたが、試合が終わった後は一緒にやってきた仲間、応援してくれた親、先生、いろんな人への感謝の気持ちでいっぱいでした。つらいこともあったけれど、そのとき仲間がいたから最後まで頑張れたし、



近藤紗耶花 (3年)

本当に仲間の大切さというものを知ることができました。学校での友達も同じくらい大切だけれど、部活の仲間は私の「一生の宝」です。この白樺学園に入学しなければ、今の仲間に出会えなかったし、こんな経験もできませんでした。だからこの学校に入って本当に良かったと思います。

4月からは釧路教育大に通います。大学に合格できたのも先生方のサポートのおかげです。いろんな人の支えがあったから今の私があるということ忘れず、高校生活や部活で学んできたことを生かし、充実した大学生活を送りたいと思います。そして、将来の夢である小学校の先生になるため努力していきたいと思えます。

連絡先  
白樺高校新聞局  
電話 6216811

白樺高校新聞局

「3年間を振り返る」